

令和7年度 都川水の里公園「稲作体験講座」第1回【開校式及び田植え】 4月27日

第1回の活動は、受講者12組46人の皆さんと、秋の豊作を祈って稲(コシヒカリ)の苗を植えました。

- 1 この日の天気は、晴れ気温は18~20℃、西南西の風がやや強かったものの絶好の田植え日和となりました。開講式の後、ボランティア団体の紹介、田植えの歴史や過去3年間の米の収穫量、高温障害、田植えのやり方や諸注意を説明しました。



- 2 受講者は3班に分かれて、3枚の保全水田に向かいます。各田には、苗を植える位置を示す「縄(なわ)」を張るスタッフ2人、田植えの指導や植え直しスタッフ1人を配置し、田植えの作業をサポートしました。

- 3 各田のスタッフが、田植えのやり方を説明します。

苗束の根元から苗を3、4本むしり取り、親指、人差し指、中指で苗を持ち、代掻きした田面に植えていきます。田面に張った縄の目印に沿って苗を植え付けます。植えた苗が浮き上がらないよう土を寄せて苗をしっかりと固定します。

1列植えたら、1歩後退して同様に苗を植えていきます。後退した時に付けた足跡を均しながら、田植えの作業を繰り返します。



4 初めて田植えをする方がほとんどです。最初は田んぼの水を少し冷たく感じたり、ぬかるみに足を取られたりした人も、次第に田んぼの土と水の感触が心地よくなってきました。田植え足袋を履いた人は少なく、ハイソックスやサンダル、長靴を履いて田に入った人が多かったです。

植えはじめは上手くできなかった人も、段々と要領をつかみ、植え進むにつれて慣れてきて上手にかつ速くなっていきました。



5 9時30分頃から始めて1時間余り10時30分頃には全ての田んぼで植え終わりました。



6 ボランティアの方が作ってくれた草餅（餡子味、黄な粉）を美味しくいただき、皆さん嬉しい笑顔で第1回の作業を終えることができました。

